

学校だより

編集部連絡先*

〒257-0025 秦野市落合500

TEL 0463(81)1429 FAX 0463(83)4118

ホームページ

<http://www.hadano-sh.pen-kanagawa.ed.jp/>

ホタルブクロの咲く道

校長 鈴木正一

落合校舎への通勤路上「関東ふれあいの道」(お寺の横の坂道)を歩くことがあります。この時期には道沿いにホタルブクロが可憐な花を咲かせています。立ち止まって顔を寄せしばらく眺め、ほっと一息ついてまた坂を上り始めます。一輪摘んで校長室に飾ることもあります。梅雨らしさを感じさせられます。

桜→ハナミズキ→さつき→紫陽花→あやめ。春から夏へと季節を彩ってきた花々。7月の声を聞くと朝顔やひまわりも咲き出すでしょうか。月日のたつのは早いものです。

顔を上げて胸を張って上を向いて歩こう。

でも足元をしっかりと見つめ確認することも大事。

すてきな発見がありますものね。



A

A課程小学部では、ベランダに素敵なプランターを作りました。ネット全部に蔦が広がれば、緑のトンネルが完成する予定です。そこではゴーヤを収穫することもできますよ。今から夏が楽しみです！中学部では期末試験がありました。3年生にとっては、とても大きな意味を持つ試験です。自分の進路に向けて、また一歩進むことができました。



B

5月19日(土)、「わくわくドキドキスマイルデー」というミニ運動会が開催されました。

普段授業で行っている「おいもの体操」や、登美丘高校のバブリーダンスで準備運動をした後は、いよいよサーキットへ。楽器を鳴らしたり、音色に耳をすませたり、トンネルの小窓に穴をあけたり、棒で風船送りをしたり、自分のカードを貼ったりと、いろいろなミッションをクリアしてゴールし、メダルをもらいました。みんながゴールしたら、B課程のメンバー表が出来上がり、にこにこ笑顔が並んだ大傑作になりました。





子どもたちが心待ちにしていた春の遠足。朝から子どもたちの笑顔がまぶしく、太陽のようにキラキラしていました。バスの車内からは、宮ヶ瀬湖が太陽の光に照らされ青々としており、子どもたちはその大きさと美しさ、迫力に大興奮。みやがせミーヤ館では、宮ヶ瀬湖周辺に生息している生き物を見学しました。鹿の剥製は大きくて今にも動き出しそうでした。「遠足とっても楽しかったね。」と、子どもたちが嬉しそうに話しています。



Dでは、中1～3年生の小集団「ピエンソ・グループ」が、弘法山へ校外学習に行きました。2人で1台カメラを持ち、歩きながら見つけた花や虫、いいなと思った景色などを写真にとりました。普段なら片道15分で山道を駆け上ってしまう強靱な体力のピエンソ少年たちですが、この日は40分かけてじっくり観察をしながら登っていました。めんよの里で羊に触れ、おやつも食べて、仲間と楽しい時間を過ごすことができました。



5月16日すがすがしい新緑の中、1年生は弘法山に遠足に出かけました。途中スタンプラリーのポイントを探しながら、飴・水分補給もして、きつい階段や山道を歩き続けました。「熊注意の看板見つけた！」や「井戸水、思ったより冷たくない。」など、いろいろな声が聞こえました。だんだん疲れてきて、『人名しりとり』を楽しみながら歩いたりもしました。昼食後ようやく展望台へ！
展望台からは、秦野の景色が一望でき、「ロマンスカーが見える。Nゲージみたいだ！」
「ヤマタ電機が見える！」と歓声が上がっていました。
下山後は、トイザらスでジュースなどを買い水分補給し、秦野駅まで水無川沿いを歩きました。疲れたけど、お天気にも恵まれ楽しい1日でした。



中学部2年生、小学部4、5年生が5月16日（水）から18日（金）に宿泊学習に行きました。中学部は2泊3日、小学部は17日から1泊2日でした。どの児童生徒もいつもと違う環境なのでドキドキの様子でしたが、レクレーションやみんなとの食事を通して、宿泊学習を楽しむことができました。帰りのバスでは、疲れたのか、うとうとしている児童生徒もいましたが、元気に怪我無く、過ごすことができました。

